



U18 一年間を終えて

コロナ禍もあけて、U18の大会はコロナ前のように制限なくできるようになりました。今回は、先日行われたウィンターカップ岐阜県予選大会で、準優勝に輝いた高山西高校男子バスケットボール部を紹介したいと思います。



高山西高校 男子バスケットボール部 主将 北澤史琉

一年を振り返って私が思ったことは、辛くも楽しい1年間でした。3年生が引退し、キャプテンとしてチームを任された中迎えた新人戦、結果は5位。全国大会出場を目標にしている中での敗戦に、とても悔しい思いをしたことを今でも覚えています。しかし私たちは、このままではいけないと練習に励みました。体力・フィジカルの強化など逃げたくなるような練習も、仲間と声をかけ合い乗り越えました。

そして迎えたインターハイ、決勝リーグまで順当に勝ち進み、決勝リーグ、美濃加茂高校、大垣工業高校に勝利し、あと1つ勝てば全国大会出場というところまでできましたが、敗戦し、準優勝という形で夏を終えました。この結果を受け、「次こそは」と最上級生一丸となり、冬のウィンターカップを目指す決心をしました。

夏休みには日清食品東海ブロックリーグに出場し、東海の強豪校との連戦で苦しい時間帯もありましたが、チームで粘り続け、優勝することができました。この勢いのままウィンターカップ予選にチーム一丸となって臨み、初戦から順当に勝ち進み、準決勝での富田高校戦、序盤から練習してきたことを、攻守共に発揮することができ、勝ち切ることができました。そして全国大会をかけた決勝戦、1Qは自分たちの強みを活かしたプレーでリードを保ちましたが、段々と相手の高さや地力の差に吞まれていまいました。しかし、誰一人下を向くことなく戦い抜くことができました。

目標であった全国大会出場は叶いませんでしたが、この高山西高校で戦えたこと、そしてこの仲間たちのキャプテンでいられたことが本当に幸せな時間でした。また後輩たちならきっと全国大会出場を決めてくれることと思います。これからも高山西高校男子バスケットボール部の応援をよろしくお願いします。1年間ありがとうございました。

編集後記

やっと暗く長いコロナ禍というトンネルを抜け、各カテゴリーの大会や活動も制限無くできるようになりましたし、先日は、B3 岐阜スーパースの試合も高山で無事迎えることができました。プロ選手の試合を間近で見ることができ、

会場の熱量や大歓声なども体感することができ、本当に充実した時間となりました。多くの小中高生が観戦に来ている様子も見受けられました。これを機会にバスケットボールをする子供たちが増えてくれたらと願っています。(K.B)



TAKAYAMA AMATEUR BASKETBALL ASSOCIATION
飛騨高山のバスケットボールを盛り上げよう!
編集・発行：高山市バスケットボール協会
tabba.jp

高山市バスケットボール協会は
賛助会はじめ協会を支えてくださる皆様のお力添えをいただきながら地方が疲弊化する中で若者にバスケットボールを通じて夢と誇りを持って頂きこの地域を支える大きな担い手としての存在に大きく成長してくれることを希望しながらこれからも協会活動に邁進していきます



社会人・高山リーグ2023



高山リーグ2023 掲載ページ

今年度の高山リーグは、総当たりのリーグ戦を二回。そして現在、コロナ明け初となる順位決定トーナメントを開催中です。昨年までは交流戦という形でしたが、やはり順位が決まる試合となると熱量が違います。先にビッグアリーナにて行われた B3 リーグや、高校ウィンターカップ等に刺激を受けて、各チーム忘れかけていた熱い「真剣勝負」を繰り広げています！

リーグ戦の試合後、とある審判の方から、こんなご意見を頂きました。

「社会人（高山リーグ所属チーム）と、高校生や大学生との交流がもっと増やすことはできないか？在学中から高山の社会人バスケットボールチームとの交流があれば、高校や大学を卒業してからもバスケットボールを続けて行きたいと思っている若者がどこかの所属チームでプレイしたり、新しくチームを作って参戦したりしやすくなるのでは？」との事でした。

確かに社会人バスケは、バスケを続けたい若者の受け皿にもなりえますし、高山のバスケットボール競技人口の増加にも繋がりそうです。現状、交流の場は高山選手権のみなので、どのような形で交流が可能か？社会人らしい柔軟な発想で色々な方向から考えてみたいと思います。





U15 中学校3年間を終えて…

令和8年度の中学校部活動完全地域移行を目前に、また、コロナ禍で制限がかかる中での3年間で、U15の選手たちは、仲間とともにできることを精一杯頑張ってきました。

7月下旬に飛騨高山ビッグアリーナ開催された中体連県大会では、女子は中山中学校がベスト8に入り、男子は東山中学校が準優勝となり、静岡県で行われた東海大会に出場しました。中学校3年間、バスケットボールをやりきった各中学校の主将の言葉を紹介します。

中山中学校 女子バスケットボール部 主将 板倉 結



「私の3年間」

目標「県大会優勝！」

私たち中山中学校女子バスケットボール部は、練習や遠征など苦しかったりきつかったりしたこともありましたが、チームで支え合い頑張ってきました。

中体連県大会では結果ベスト8で目標には届かなかったけれど、県大会に出場できなかった仲間の分も一丸となって最後まで全力で戦うことができたことを誇りに思います。

保護者の皆様をはじめ、OGやOGの保護者の皆様、他校の仲間、学校の先生方など、今までいろいろな面で関わってくださったたくさんの方々に応援していただき、ありがとうございました。感謝の思いでいっぱいです。

これからも周りの方々への感謝と支え合う仲間を大切に、勉強もバスケットボールも頑張っていきたいと思います。

東山中学校 男子バスケットボール部 主将 大坪亮介



「バスケットボールを続けてよかった」

「東海大会出場！」

これは、私がバスケットボールを続けてきて一番うれしかったことです。

東海大会に行くまでの道のりはとても大変でした。苦しい時もありましたが、そんな時はみんなで声を出して励まし合い、雰囲気をつくって練習に取り組んできました。

キャプテンとして、チームのみんなを引っ張り、仲間とともに頑張ったことで、チームで守るDFのチームを創り上げ、目標であった東海大会出場を果たすことができました。これは、自分にとっての自信となったし、今後の自分にきっと生きて信じています。

今後は、今まで支えてくださった仲間や保護者、先生やコーチなど、全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、これまで以上に自分を磨き、新しい目標を設定してさらなる努力をしていきたいです。

東山中学校男子バスケットボール部で本当によかった…



U12 高山ドルフィンズ

現在高山市ではU12カテゴリーとして、

「高山ミニ男子」「プレイカーズ jr. 男子」「高山ミニ女子」「高山ドルフィンズ (女子)」「プレイカーズ jr. 女子」「U12 プレイカーズ」「小学生バスケットボール教室」が活動しております。その中から今回は「高山ドルフィンズ (女子)」を紹介いたします。



『高山ドルフィンズ』は平成17年に発足、市内の小学校から集まった女の子で活動しています。

チームスローガンに【一意専心】を掲げて、一年生から六年生まで一緒に基礎練習を中心に行っています。その中で理論を学びながら、誰にでも出来るバスケットを目指しています。岐阜県U12部会に加入し、県主催の試合に参加したり、他県との交流戦等を体験しながら仲間との絆を深め、応援や協力してくれる保護者の方々、試合に関係する人達に感謝し「あいさつ、仲間、物を大切にする事」を忘れず、バスケットボールを楽しみながら全力を尽くせるよう、日々努力し頑張っています。

その結果、ここ最近では2年連続、東海大会に出場する事が出来ました。

ミニバスを通じて学んだ事が、その先に繋がるように、これからも頑張っ活動していきます。

